

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|----------------|------|---|-------------|--|--|----|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| 第 二 条 第 1 項 | 安全原則 | 電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。 | ■該当 □非該当 | 箇条4 | 箇条4 一般要求事項（第1部の規定による。） 機器用スイッチ（以下、スイッチという。）は、通常の使用状態で不注意な使用があった場合においても、人体又は周囲の物品に危険を及ぼさないように、JIS C 4526-1規格群に規定するところに従って、通常の使用状態で安全に機能するように設計し製作しなければならない。 | |
| 第 二 条 第 2 項 | 安全原則 | 電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。 | ■該当 □非該当 | 箇条11 11.1 11.1.3 箇条12 12.1 12.1.2 12.2 12.2.1 | 箇条11 端子及び端子部 11.1 端子への共通要求事項 11.1.3 絶縁 製造業者が指定した状態で導体が端子に取付けられたときに絶縁機能が失われないよう、端子を設計しなければならない。（第1部の規定による。） 箇条12 構造 12.1 感電に対する保護に関連する構造上の要求事項 12.1.2 スイッチは、沿面距離及び空間距離が摩耗の結果、規定する値未満に減少することがないように設計しなければならない。（第1部の規定による。） 12.2 スイッチの取付け及び通常の動作中の安全に関連する構造上の要求事項 12.2.1 安全のために設けられたカバー、カバープレート、取外し可能なアクチュエータなどは、工具の使用なしでは取替え又は動かすことができない方法によって固定さ | |

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|----------------|-------------|---|--|--|--|----|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| | | | | 12.3 12.3.1 | <p>れていなければならない。カバー又はカバープレートの固定部材は、アクチュエータを除く他の部品を固定するために用いてはならない。（第1部の規定による。）</p> <p>12.3 スwitchの取付け及びコードの取付けに関連する構造上の要求事項</p> <p>12.3.1 スwitchは、製造業者の指定する取付方法が、この規格に適合するように設計していなければならない。（第1部の規定による。）</p> | |
| 第 三 条 第 1 項 | 安全機能を有する設計等 | 電気用品は、前条の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。 | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 箇条13 13.2 箇条24 24.2 24.2.7 | 箇条13 機構 13.2 中間位置があるスitchは、中間位置において意図しない動作をしてはならない。（第1部の規定による。） 箇条24 スitchの構成部品 24.2 保護装置 24.2.7 電流だけを減少させる保護装置 電流だけを減少させる保護装置は、規定のサーミスタでなければならない。（第1部の規定による。） | |
| 第 三 条 第 2 項 | 安全機能を有する設計等 | 電気用品は、前項の規定による措置のみによつてはその安全性の確保が困難であると認められるときは、当該電気用品の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意について、当該電気用品又はこれに付 | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 箇条8 8.1 8.1.1 | 箇条8 表示及び文書 8.1 スitch情報 8.1.1 一般 スitch製造業者は、次の情報を提供しなければならない。 | |

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|-------|------------------|---|--|--------------------------------|---|----|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| | | 属する取扱説明書等への表示又は記載がされるものとする。 | | 箇条12 12.3 12.3.2 | ー 機器製造業者が、スイッチを選択及び取り付けができる情報 ー 最終使用者が、スイッチ製造業者の意図したようにスイッチを使用できる情報、等（第1部の規定による。） 箇条12 構造 12.3 スwitchの取付け及びコードの取付けに関連する構造上の要求事項 12.3.2 取外しできる導体は、導体の挿入と取外しの方法を明確に表示していなければならない。（第1部の規定による。） | |
| 第 四 条 | 供用期間中における安全機能の維持 | 電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。 | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 箇条17 17.1 17.1.1 17.2 | 第1部の第四条に該当する規定によるほか、次による。 箇条17 耐久性 17.1 一般要求事項 17.1.1 スwitchは、過度の摩耗又は有害な結果をもたらすことなく、通常の使用中に生じる電氣的、熱的及び機械的ストレスに耐えなければならない。 17.2 電氣的耐久性試験 スwitchは、規定の負荷を使用し、規定の回路に従って接続しなければならない。 | |
| 第 五 条 | 使用者及び使用場所を考慮 | 電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又 | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 箇条14 14.1 | 箇条14 固形異物、水の浸入及び高湿状態に対する保護 14.1 固形異物の侵入に対する保護 | |

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|--------------------|--------------|---|--|------------------------|---|----|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| | | | | 箇条12 12.2 12.2.4 | 絶縁機能が失われないように、端子を配置する、又は保護しなければならない。（第1部の規定による。） 箇条12 構造 12.2 スイッチの取付け及び通常の動作中の安全に関連する構造上の要求事項 12.2.4 引きひもは、充電部から絶縁されていなければならない。さらに、充電部へ可触になるような部品の取外しをすることなしに、引きひもの取付け又は取外しができなければならない。（第1部の規定による。） | |
| 第七 条 第2 号 | 感電に対する 保護 | 二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。 | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 箇条10 10.2 10.3 | 箇条10 接地接続の手段 10.2 接地端子、接地端子部及び他の接地手段は、他の中性端子に電気的に接続してはならない。（第1部の規定による。） 10.3 クラスI機器用のスイッチの可触金属部であって、絶縁不良が生じたとき充電部となるおそれがあるものは、接地用の備えをしなければならない。（第1部の規定による。） | |
| 第八 条 | 絶縁性能の保 持 | 電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。 | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 箇条12 12.1 12.1.3 | 箇条12 構造 12.1 感電に対する保護に関連する構造上の要求事項 12.1.3 一体組付け導体は、通常の使用中に浴面距離及び空間距離が、箇条20に規定する値未満に減少しないよう | |

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|-------------|----------------|--|-----------------|--------------------------------|--|----|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| | | | | 20.6 20.6.1 | 20.6 剛性プリント配線板アセンブリのコーティング 20.6.1 一般 剛性プリント配線板アセンブリのコーティングは、汚損に対する保護及び/又は使用するタイプ1コーティング又はタイプ2コーティングによる絶縁を備えなければならない。(第1部の規定による。) | |
| 第九 条 | 火災の危険源からの保護 | 電気用品には、発火によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、発火する温度に達しない構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。 | ■該当 □非該当 | 箇条24 24.2 24.2.8 | 箇条24 スwitchの構成部品 24.2 保護装置 24.2.8 ヒューズ抵抗器 ヒューズ抵抗器は、十分な遮断容量があり、故障状態下での破断中に火災又は燃焼粒子の放出を引き起こしてはならない。(第1部の規定による。) | |
| 第十 条 | 火傷の防止 | 電気用品には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。 | ■該当 □非該当 | 箇条16 16.3 16.3.1 | 箇条16 温度上昇 16.3 その他の部品 16.3.1 接点及び端子以外のスイッチ部は、通常の使用においてスイッチの性能・動作を損なうか、又はスイッチの使用者に危害を与えるような過度の温度に達してはならない。(第1部の規定による。) | |
| 第十一 条 第 1 項 | 機械的危険源による危害の防止 | 電気用品には、それ自体が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件 | ■該当 □非該当 | 箇条19 19.2 19.2.8 | 箇条19 ねじ、通電部品及び接続 19.2 ねじ止め接続 19.2.8 導体を締め付けるねじ及びナットは、規定のねじ | |

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|-------------|----------------------------|---|-----------------|------------------|---|--|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| | | に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。 | | | 又はピッチ及び機械的強度が同等でなければならない。 (第1部の規定による。) | |
| 第十一 条第2項 | 機械的危険源 による危害の 防止 | 2 電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。 | ■該当 □非該当 | 箇条18 18.1 | 箇条18 機械的強度 18.1 一般要求事項（第1部の規定による。） 可触部品は、通常の使用中に受ける最低限のレベルの下記の力に耐える機械的強度をもたなければならない。 － 衝撃 － 引張り － 押圧 | |
| 第十二条 | 化学的危険源 による危害又 は損傷の防止 | 電気用品は、当該電気用品に含まれる化学物質が流出し、又は溶出することにより、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。 | □該当 ■非該当 | － | － | 一般的に、人体に危害、又は物件に損傷を与えるおそれのある化学物質の流出及び溶出がないため、非該当が妥当と考える。 |
| 第十三条 | 電気用品から 発せられる電 磁波による危 | 電気用品は、人体に危害を及ぼすおそれのある電磁波が、外部に発生しないように措置されているものとする。 | □該当 ■非該当 | － | － | 一般的に、人体に危害を及ぼすおそれのある電 |

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|---------|--------------------|---|--|------|---|--|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| | 害の防止 | | | | | 磁波が外部に発生しないため、非該当が妥当と考える。 |
| 第十四条 | 使用方法を考慮した安全設計 | 電気用品は、当該電気用品に通常想定される無監視状態での運転においても、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。 | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 箇条4 | 箇条4 一般要求事項（第1部の規定による。） 機器用スイッチ（以下、スイッチという。）は、通常の使用状態で不注意な使用があった場合においても、人体又は周囲の物品に危険を及ぼさないように、JIS C 4526-1規格群に規定するところに従って、通常の使用状態で安全に機能するように設計し製作しなければならない。 | |
| 第十五条第1項 | 始動、再始動及び停止による危害の防止 | 電気用品は、不意な始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。 | <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 | — | — | 一般的に、不意な始動によって人体に危害を及ぼし又は物件に損傷を与えるおそれがないため、非該当が妥当と考える。 |
| 第十五条第2項 | 始動、再始動及び停止による危害の防止 | 電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないもの | <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 | — | — | 一般的に、不意な再始動によって人体に危害を |

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|---------|--------------------|---|--|------------------------|---|--|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| | | とする。 | | | | 及ぼし又は物件に損傷を与えるおそれがないため、非該当が妥当と考える。 |
| 第十五条第3項 | 始動、再始動及び停止による危害の防止 | 電気用品は、不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。 | <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 | — | — | 一般的に、不意な停止によって人体に危害を及ぼし又は物件に損傷を与えるおそれがないため、非該当が妥当と考える。 |
| 第十六条 | 保護協調及び組合せ | 電気用品は、当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し、異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を設定するとともに、安全装置が作動するまでの間、回路が異常な電流に耐えることができるものとする。 | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 箇条11 11.1 11.1.1 | 箇条11 端子及び端子部 11.1 端子への共通要求事項 11.1.1 一般 端子は、使用条件を明らかにした導体に対して、安全及び信頼性のある接続をしなければならない。(第1部の規定による。) | |

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|--------------|--------------------|--|--|------------------------|--|----|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| 第十七条 | 電磁的妨害に対する耐性 | 電気用品は、電氣的、磁氣的又は電磁的妨害により、安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。 | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 箇条25 25.2 25.2.1 | 箇条25 EMC要求事項 25.2 イミュニティ 25.2.1 一般 電子式スイッチは、スイッチの状態（オン又はオフ）及び／又は設定値が、電磁干渉から保護されるように設計しなければならない。（第1部の規定による。） | |
| 第十八条 | 雑音の強さ | 電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑音を発生するおそれがないものとする。 | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 箇条25 25.3 25.3.1 | 箇条25 EMC要求事項 25.3 エミッション 25.3.1 低周波エミッション 公共低電圧供給システムに接続する電子式スイッチは、回線に過度の妨害の原因とならないように設計されていなければならない。（第1部の規定による。） | |
| 第十九条 | 表示等（一般） | 電気用品は、安全上必要な情報及び使用上の注意（家庭用品品質表示法（昭和三十七年法律第百四号）によるものを除く。）を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。 | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 箇条8 8.1 8.1.2 | 箇条8 表示及び文書 8.1 スイッチ情報 8.1.2 スイッチへの表示による情報 表3において、情報の提示手段欄に“表示”とある情報は、スイッチに表示しなければならない。（第1部の規定による。） | |
| 第二十条 条第1号 | 表示等（長期使用製品安全表示制度によ | 次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか、当該各号に定めるところによる。 | <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 | — | — | — |

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|---------|------------------------|--|---|------|-----------|----|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| | る表示) | <p>一 扇風機及び換気扇（産業用のもの又は電気乾燥機（電熱装置を有する浴室用のものに限り、毛髪乾燥機を除く。）の機能を兼ねる換気扇を除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法（昭和四十八年法律第三十一号）第三十二条の三第一項第一号に規定する設計標準使用期間をいう。以下同じ。）</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨。</p> | | | | |
| 第二十条第2号 | 表示等（長期使用製品安全表示制度による表示) | <p>二 電気冷房機（産業用のものを除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> | <p><input type="checkbox"/>該当</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>非該当</p> | — | — | — |

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|---------|------------------------|--|--|------|-----------|----|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| | | (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨。 | | | | |
| 第二十条第3号 | 表示等（長期使用製品安全表示制度による表示） | <p>三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置を有するものを除く。）及び電気脱水機（電気洗濯機と一体となっているものに限る、産業用のものを除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨。</p> | <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 | — | — | — |
| 第二十条第4号 | 表示等（長期使用製品安全表示制度による表示） | <p>四 テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限り、産業用のものを除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> | <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 | — | — | — |

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 4526-1-1:2020

規格名：機械式スイッチの要求事項

| 技術基準 | | | 該当 | 規格 | | 補足 |
|------|------|---|----|------|-----------|----|
| 条項 | タイトル | 条文 | | 項目番号 | 規定タイトル・概要 | |
| | | (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨。 | | | | |